

■英国：ナショナルグリッド、新たなバランシングサービスを導入

英国の送電系統運用者ナショナルグリッドは2014年6月10日、同社が提供するバランシングサービスに、デマンドレスポンスを活用した新たな「需要反応による需給調整予備力（DSBR：Demand Side Balancing Reserve）」を導入することを発表した。予備力確保サービスのためのデマンドレスポンス契約はこれまでも存在したものの、新サービスは11～2月の平日16～20時の冬季ピークを対象とした新しい契約形態となる。また同時に、休廃止を予定する発電所と冬期の平日6～20時を対象とした予備力確保契約「追加的需給調整予備力（SBR：Supplementary Balancing Reserve）」サービスも導入する。両サービスともに需給調整の最終手段として緊急時に備える。同社は、2014年6月中に2014～2015年冬期に向けた最大33万kWのDSBRの入札を行うほか、2014年秋までと2015年初めの入札を通じて、DSBRとSBRにより合計180万kWの容量を確保する。